

9. 多雪地帯における植付方法別雪害防除実験(終了)

1. 目的

多雪地帯におけるスギ幼令木の雪害を防除するため、根系形成の促進を図り、根張りを強く、また埋雪期間の短縮を図る必要がある。このため、植付方法の検討とともに、肥培、保育作業を通じ雪害を防除する作業体系の確立を目的とする。

2. 場所

山形県最上郡戸沢村大字神田字内林園有林
古口事業区 4林班よ小班

3. 面積

0.18ha(3区画)

4. 期間

自 昭和46年4月
至 昭和55年11月 } 10年

5. 実験地の概要

位置図、設定図等は46年度報告書のとおり。

6. 生育状況について

生長量調査結果は「表-1」、年度別成長経過は「図-1、2」のとおりである。

植栽後10生育期間を経過した現在、斜深植、深植が根元径、樹高ともに良好な成長をみせており普通植に比較してそれぞれ根元径で129%、121%、樹高で139%、129%と良好な生育をしている。

7. 雪害について

これまでの雪害は、根元折、傾斜木、先折等発生しているが、散発的であり、植付方法別による特徴はみられない。

8. むすび

本実験地は小面積であり、地形的な影響も多分にあると思われるが、根系を充実させるには多雪地帯では普通植よりも多少深めに植えた方が適当な植付方法の一つと云える。

深く、新法
の育成に期待

みせており
の生育をして

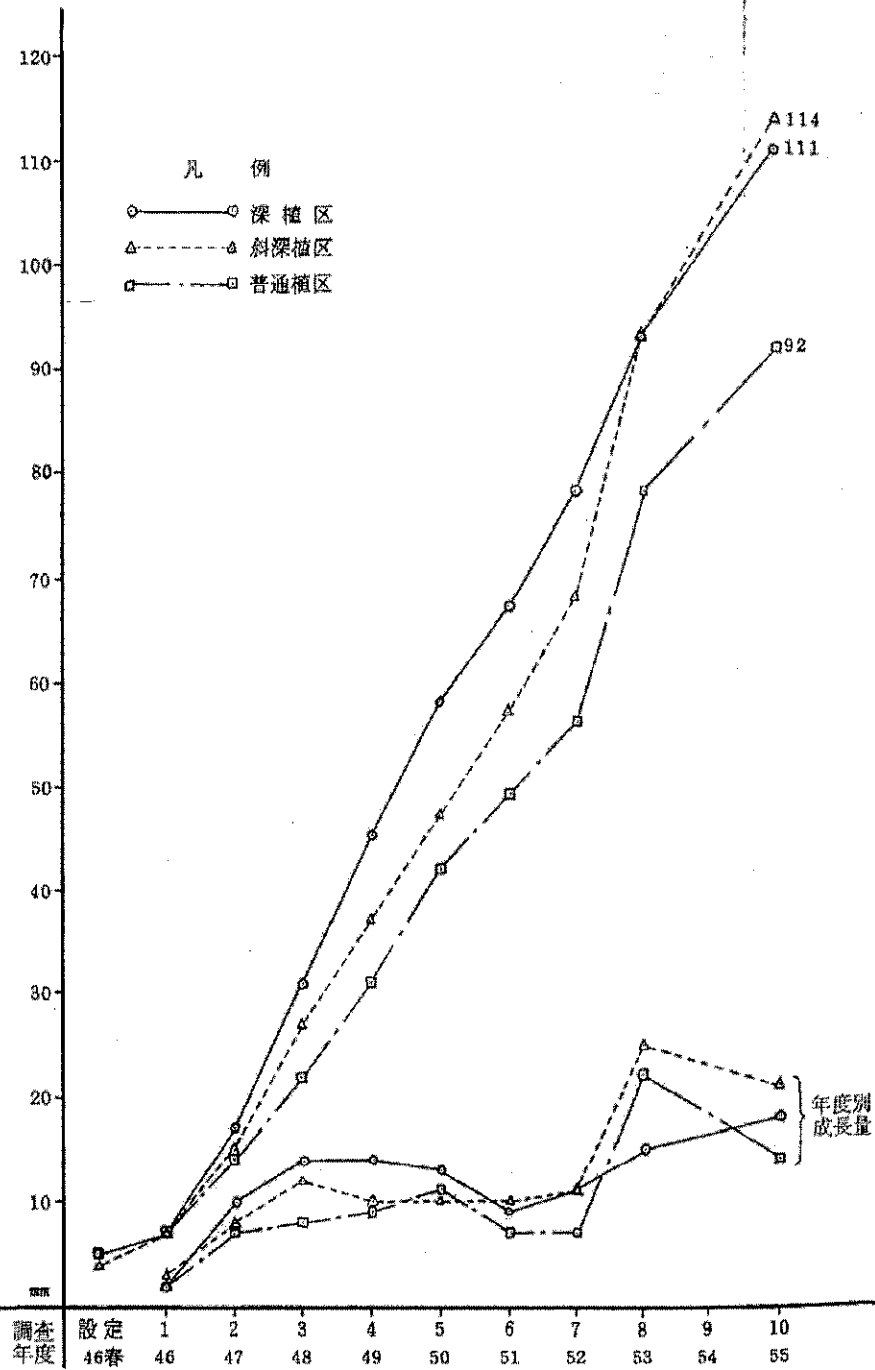
区別による特

57は最も多

表一1. 植付方法別成長量調査表

植付方法	設定時 (45年度)		53年度		54年度		55年度		今年度成長量				今年度成長率				設定以降 10ヶ年成長量		設定以降 10ヶ年成長率		比	
	根元径 mm	樹高 cm	根元径 mm	樹高 cm	胸高 直径 mm	樹高 cm	根元径 mm	樹高 cm	根元径 mm	樹高 直径 mm	胸高 直径 mm	樹高 cm	根元径 mm	樹高 cm	根元径 mm	樹高 cm	根元径 mm	樹高 cm	根元径 mm	樹高 cm	根元径 mm	樹高 cm
深植区	5	26	93	450	60	450	111	72	481	18	12	31	19	20	7	106	455	2120	1750	121	129	
斜深植区	4	29	93	435	57	435	114	71	520	21	14	85	23	25	20	110	491	2750	1693	124	139	
普通植区	5	29	78	345	40	345	92	49	374	14	9	29	18	23	8	87	345	1740	1190	100	100	

圖一、年度別成長經過 (根元徑)



圖二、年度



114

111

12

图一2. 年度別成長經過 (樹高)

